

たまるみちいせき
田丸道遺跡（第3次）

所在地：度会郡玉城町中楽（わたらいぐん たまきちょう ちゅうらく）

遺跡への経路：県道37号（鳥羽松阪線）の世古1交差点を南に進み、2つ目の信号を東に曲がってください。妙法寺と中楽の間に広がる田んぼが田丸道遺跡です。

位置情報 URL：<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=128&ll=35.02056018518518,136.5319774011299>

調査原因：平成24年度高度水利機能確保基盤整備事業（有田地区）

調査機関：平成24年9月14日～平成24年1月（予定）

調査面積：約1500㎡（予定）

主な遺構：中世の柱穴や溝？

主な遺物：中世の土器？

見頃：10月頃

田丸道遺跡は、玉城町妙法寺と中楽の間に広がっている水田のほぼ全域を範囲とした、大きな遺跡です。今回の調査区からは、中世の遺構や遺物が見つかる可能性があります。

写真は、平成22年度に行った第2次調査の様子です。幅55mの自然流路からは、古墳時代後期の木組みの堰せきや舟形木製品などがみつかりました。

流路の北側では平安時代後期の大型の掘立柱建物ほったてばしらたてものが見つかり、柱穴から緑釉陶器りよくゆうとうきの椀や耳皿が出土したことから、役所などがあった可能性があります。



平安時代の掘立柱建物（第2次調査）



古墳時代後期の木組みの堰（第2次調査）



柱穴の中から出土した緑釉陶器（第2次調査）

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503 番地
調査研究1課 / 担当：相場
電話番号:0596-52-1732 / FAX:0596-52-7035
E-mail:maibun@pref.mie.jp